

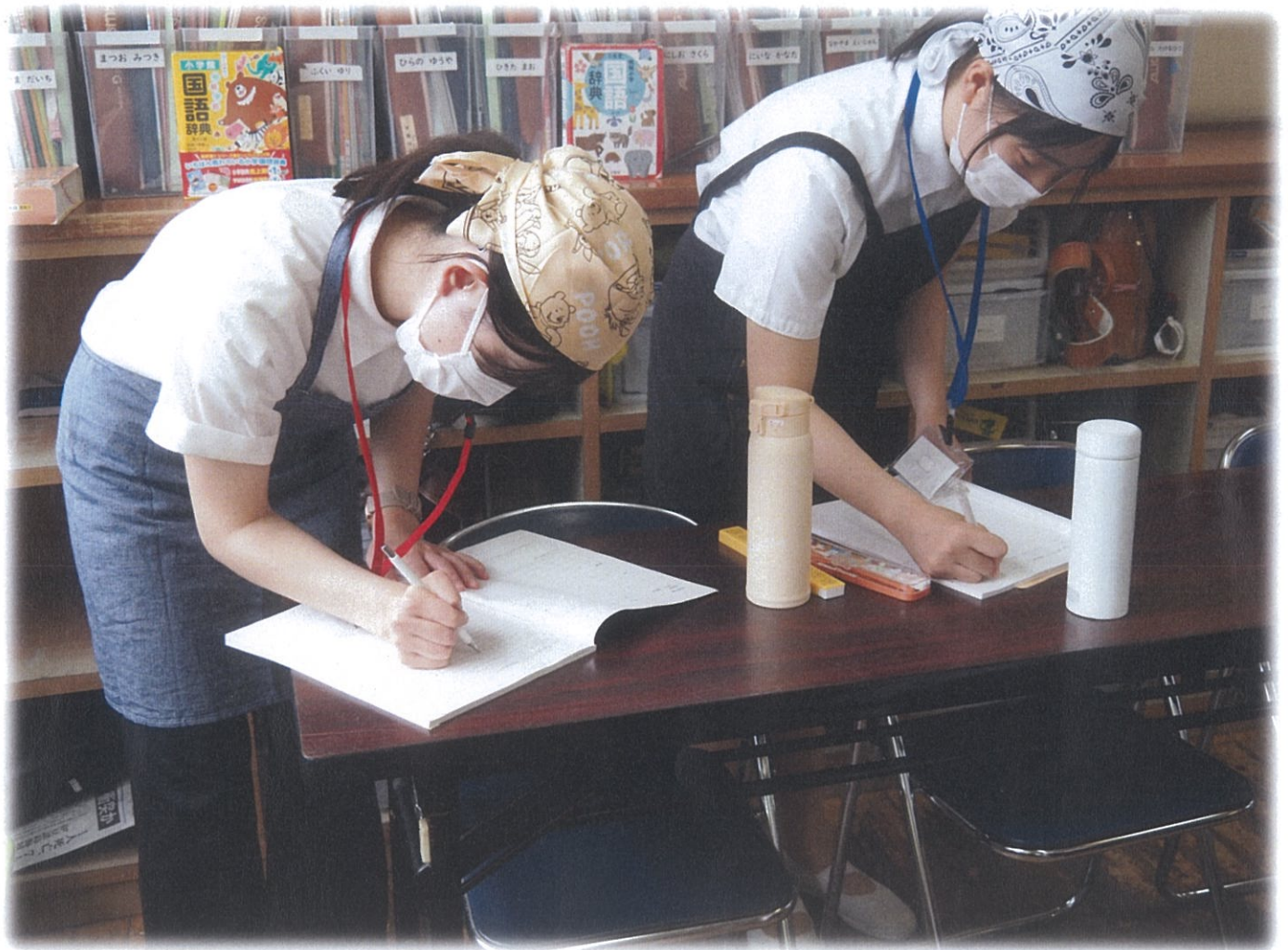


R6. 6. 24 観察実習オリエンテーション

# 口火を切る

全員の前で自分の意見を話すことは、簡単ではない。だからこそ、最初に口火を切って話をした姿に、勇気・意欲・素直を感じました。





R6. 6. 24 3年部給食の様子

# 寸暇を惜しんで

給食準備の時間も大切な実習の時間。準備の仕方、子供たちの様子をしっかり見取り、メモにとる。時間を最大限有効に活用する学びの姿がいいですね。





R6. 6. 25 3年部授業の様子

# 子供の目線で

子どもと目線を合わせると、どんないいことがあるだろう！？子どもの側について目の高さを合わせてみよう。見えるもの聞こえる言葉、感じるものは同じか



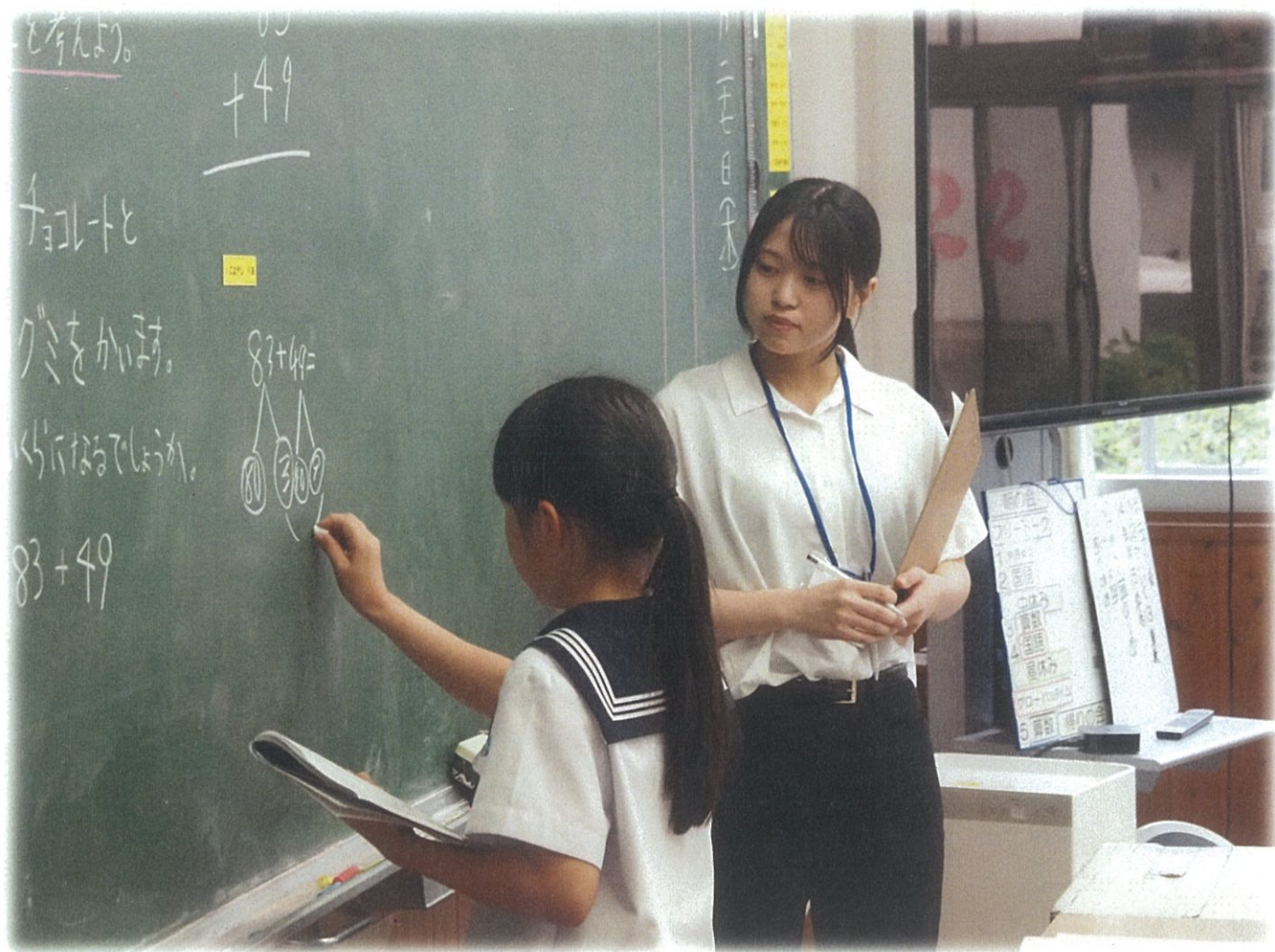


R6. 6. 26 5年部学年会の様子

# 納得するまで質問

より良い授業を作るために、自分の頭の中で納得するまで何度も教員や実習生に質問していました。これぞ、“攻めの学び”だと思いました。





R6. 6. 27 2年部授業の様子

# うなずきが安心感を生む

子供の話を聴きながら、うなずく。先生のうなずきが、話をちゃんと聴いてくれているという子供の安心感になり、また話したいという意欲になります。





R6. 6. 27 6年部授業の様子

# 無駄な挑戦はない

授業チャレンジ、初めて子供たちの前で授業をする。予想とは違う子供の発言や反応に戸惑うのは当たり前。この挑戦を次にどう繋ぐか考えることが大切。





R6. 6. 27 2年部学級指導

# 体験を経験にチェンジ

授業にチャレンジしてうまくいったこと  
いかなかったことを振り返る。体験を経  
験にチェンジすることが自分の力。次の  
授業はきっとよくなっているはずです。





R6. 6. 27 | 1年部昼休みの様子

# 心通わせる

昼休み、子供たちに囲まれて、にぎやかに話をしています。子供たちと先生の楽しそうな笑顔から、心が通っているのが伝わってきます。





R6. 6. 27 2年部授業の様子

# 子供のそばに

授業中、子供のそばに自分から行く。子供のつぶやきを聴き取る、子供の書いたものを見取る。子供の理解や思いをしっかりと掴むためには必要です。



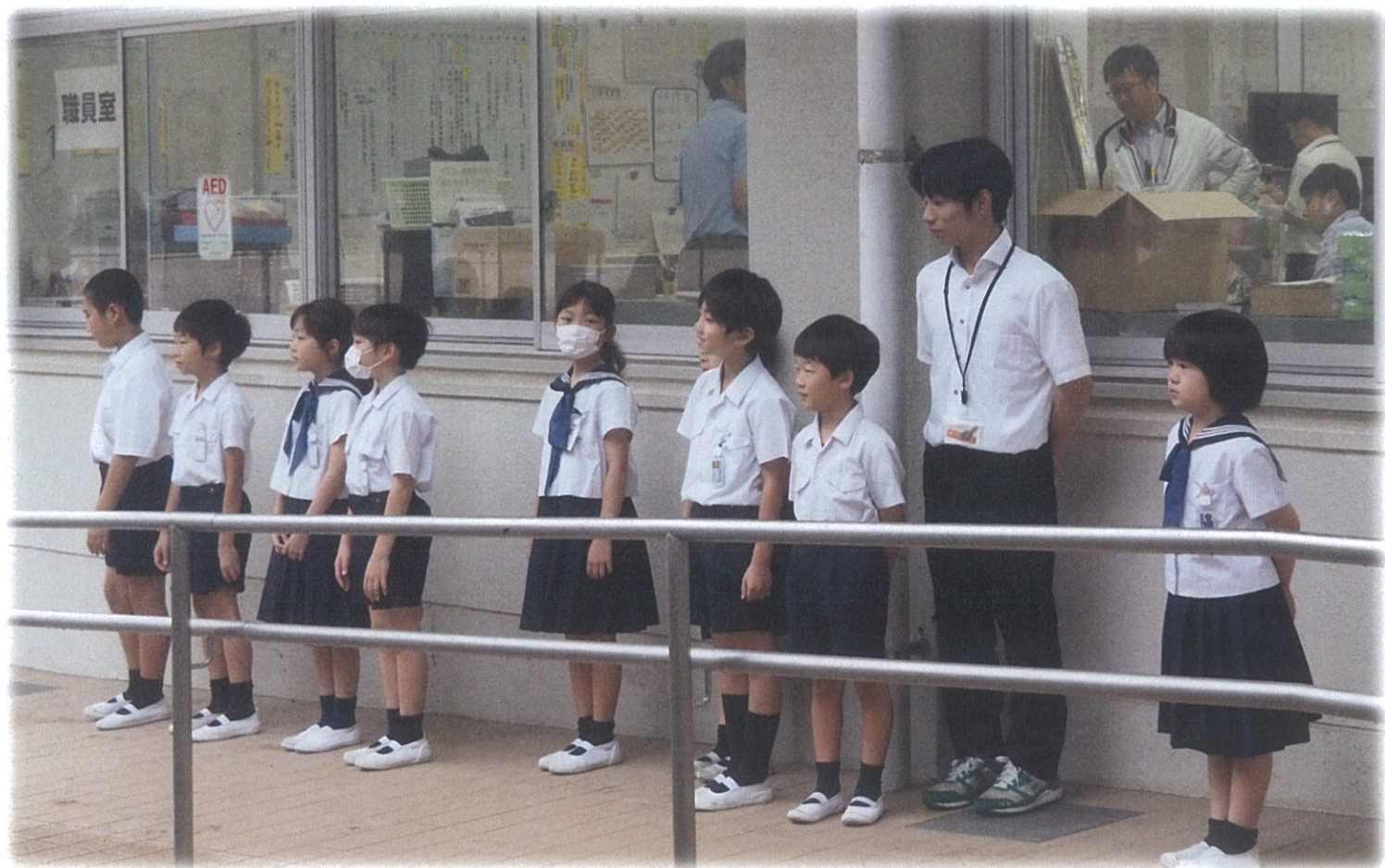


R6. 6. 27 朝休みの様子

# あさいち

学級担任の仕事は、授業だけではありません。朝、学校に来てから早速、提出物のチェック。この時間を子供たちとのコミュニケーションに活用してました。





R6. 6. 27 朝の挨拶運動の様子

# 子供と共に

子供のがんばりに注目し、朝のあいさつ運動に参加する。子供と一緒に活動をするすることで、見えてくること感じるものがたくさんあります。子供も喜びます。





R6. 6. 27 4年部授業の様子

# 前から見取る

子供たちの姿から何を見取るか？前から見ると発表者や先生だけでなく、聴いている子供たちの姿も見取れます。発表に対する反応から分かることも多いです。





R6. 6. 28

6年部授業の様子

# メモ！メモ！メモ！

授業も講話も掃除も大切なことをメモにとる。大事だと思ふことを考え、しっかりと聴き逃さない、見逃さない。このメモが自分の財産になります。





R6. 6. 28 1年部授業の様子

# 童心にかえる

1年生と水遊び。子供たちと一緒にびし  
やびしやに濡れて、思いっきり遊ぶ。子供  
たちも水を掛け合って大喜び。時には、子  
供の心にもどって遊ぶのも必要ですね。





R6. 6. 28 2年部授業の様子

# 万能ツール座席表

授業の児童の学びの様子を見取る。見取った一人一人の様子を、座席表に記録する。そして、それを元に展開していく。座席表は見取りの万能ツールです。



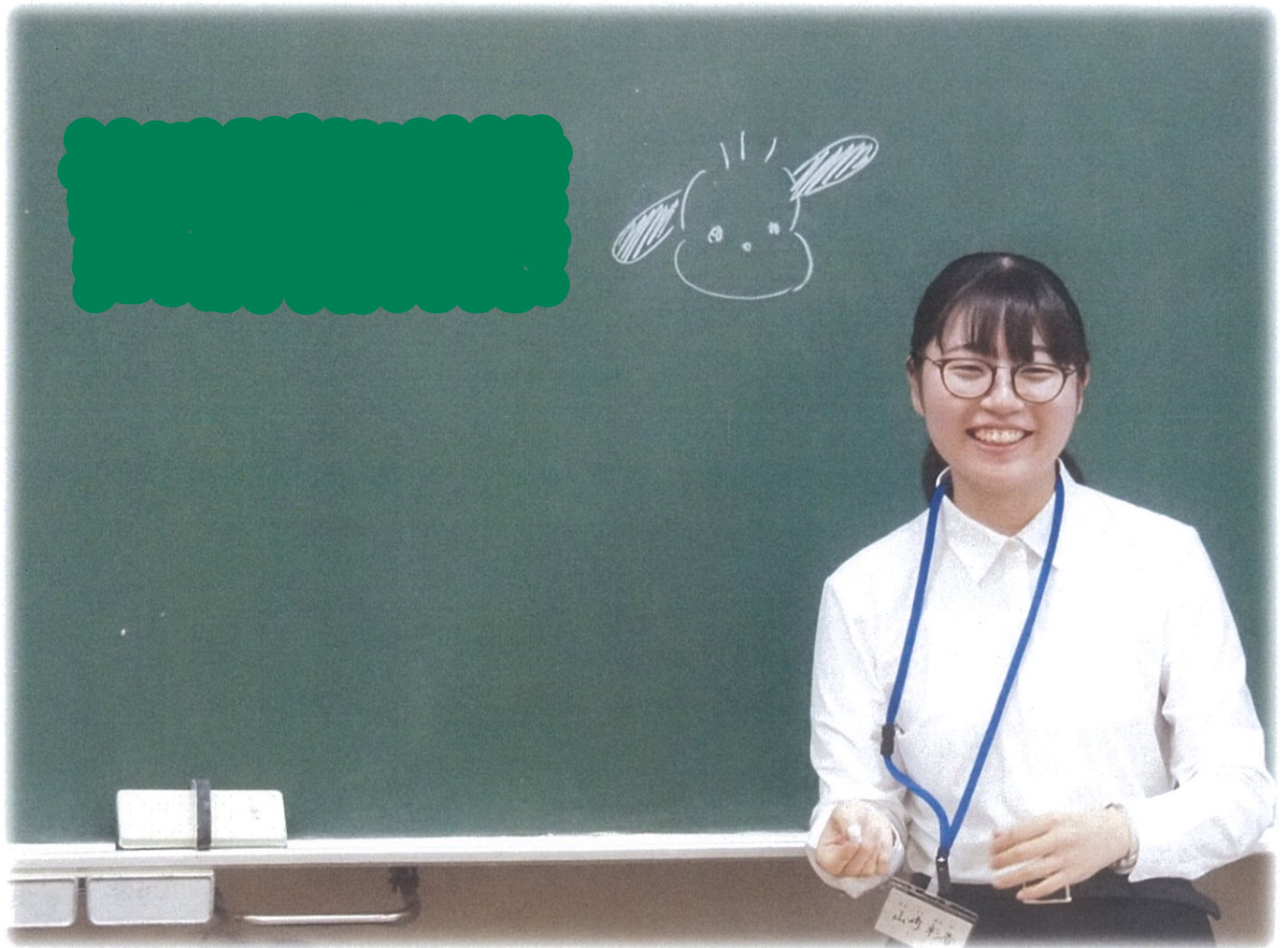


R6. 6. 28 掃除の振り返りの様子

# 愛ある価値づけ

- ① 名前を紹介して、良かった姿を語る。
- ② 今後の成長に期待して、あえて課題を出し、解決策を考えるようにする





R6. 7. 1 3年部自己紹介の様子

# インパクト

子供たちとの初めての出会いは、ドキドキの瞬間。自分を知ってもらうために何を話すか何をするかは大切。黒板の絵と笑顔が子供たちの心に残りましたね。



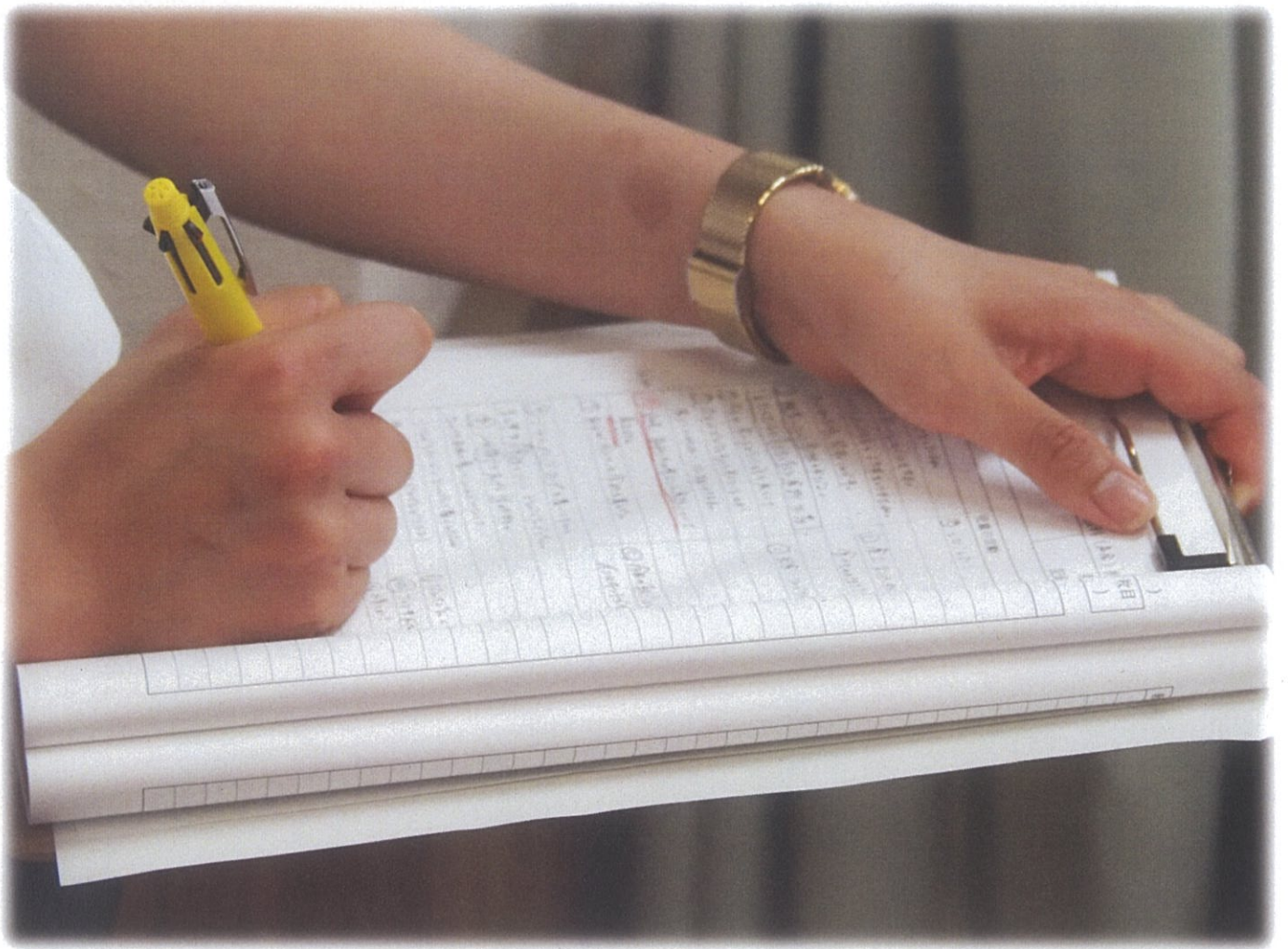


R6. 7. 1 4年部休み時間の様子

# 積極的アプローチ

児童理解のためには、自分から子供たちに話しかけてコミュニケーションをとる。笑顔で積極的にアプローチすることで心の距離感も縮まりますね。





R6. 7. 1 授業の様子

# メモの量＝学びの量

子供の姿や教師の姿をどんどんメモして  
います。ノートに蓄積された多くのこと  
を分析することで、授業や学級、児童を見  
取る目を養うことができます。





R6. 7. 1 休み時間の様子

# フラットな目線で

子供たちと同じ目線の高さで話しかける。自分の目線を子供たちに合わせると、自然に子供の見方や考え方が分かるようになってきます。



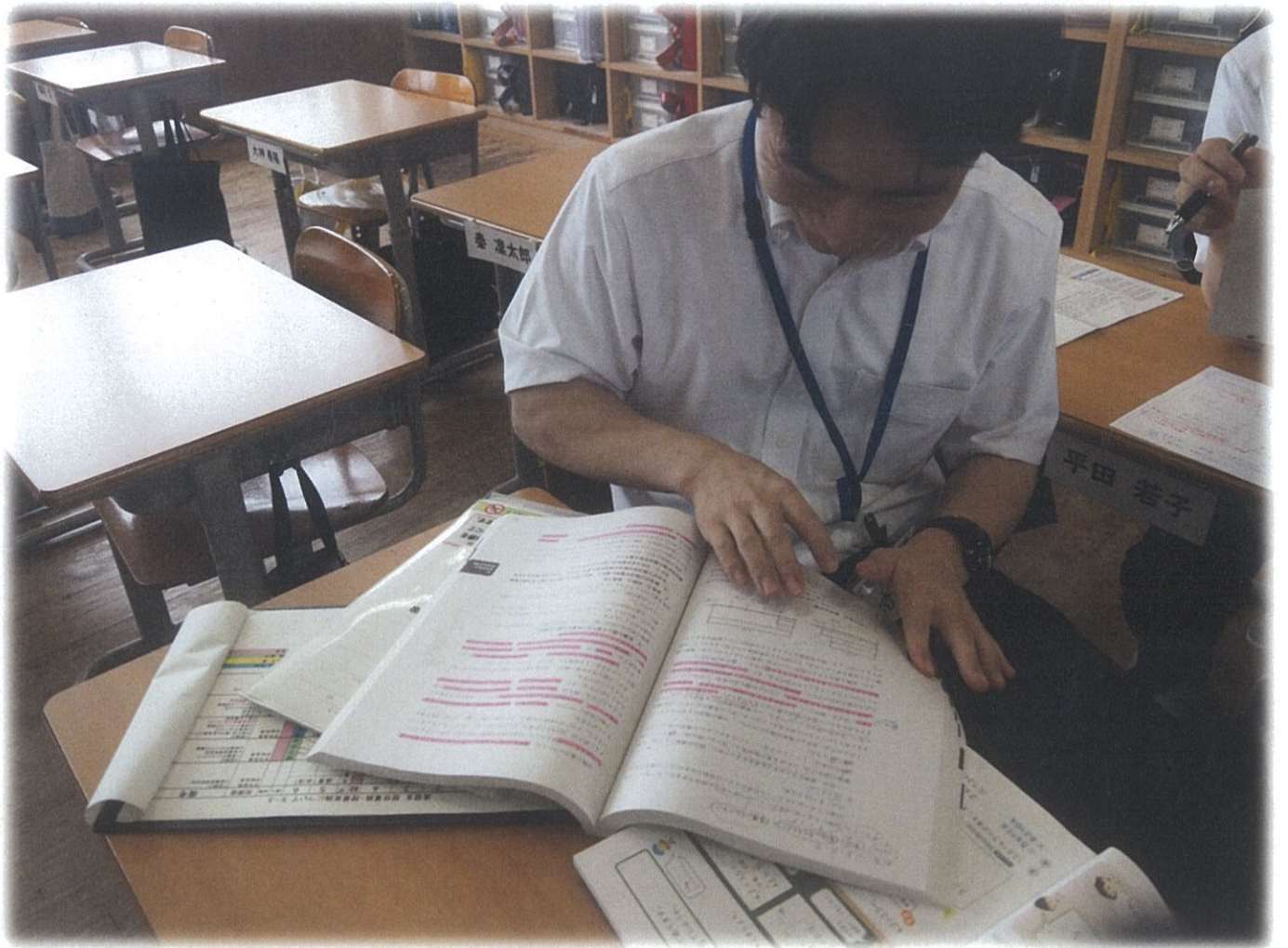


R6. 7. 2 あいさつ運動の様子

# 一人が輝く

朝のあいさつ運動に子供たちと一緒に参加する。他の実習生がいなくても進んで参加する姿勢に、この実習で学ぼうとする強い意欲を感じます。





R6. 7. 2 5年部教材研究の様子

# 学習指導要領に基づいて

学習指導要領に基づいて指導案を考える。子どもたちに付けたい力は何かを確認しながら進めることはきっとこれから先の授業づくりで役に立つはずです。





R6. 7. 2 6年部学年会

# 学びの姿勢

何のために実習をしているのか？真剣な眼差しに、しっかりと実習の目的を意識していることを強く感じます。4週間を有意義なものにするためできることを。



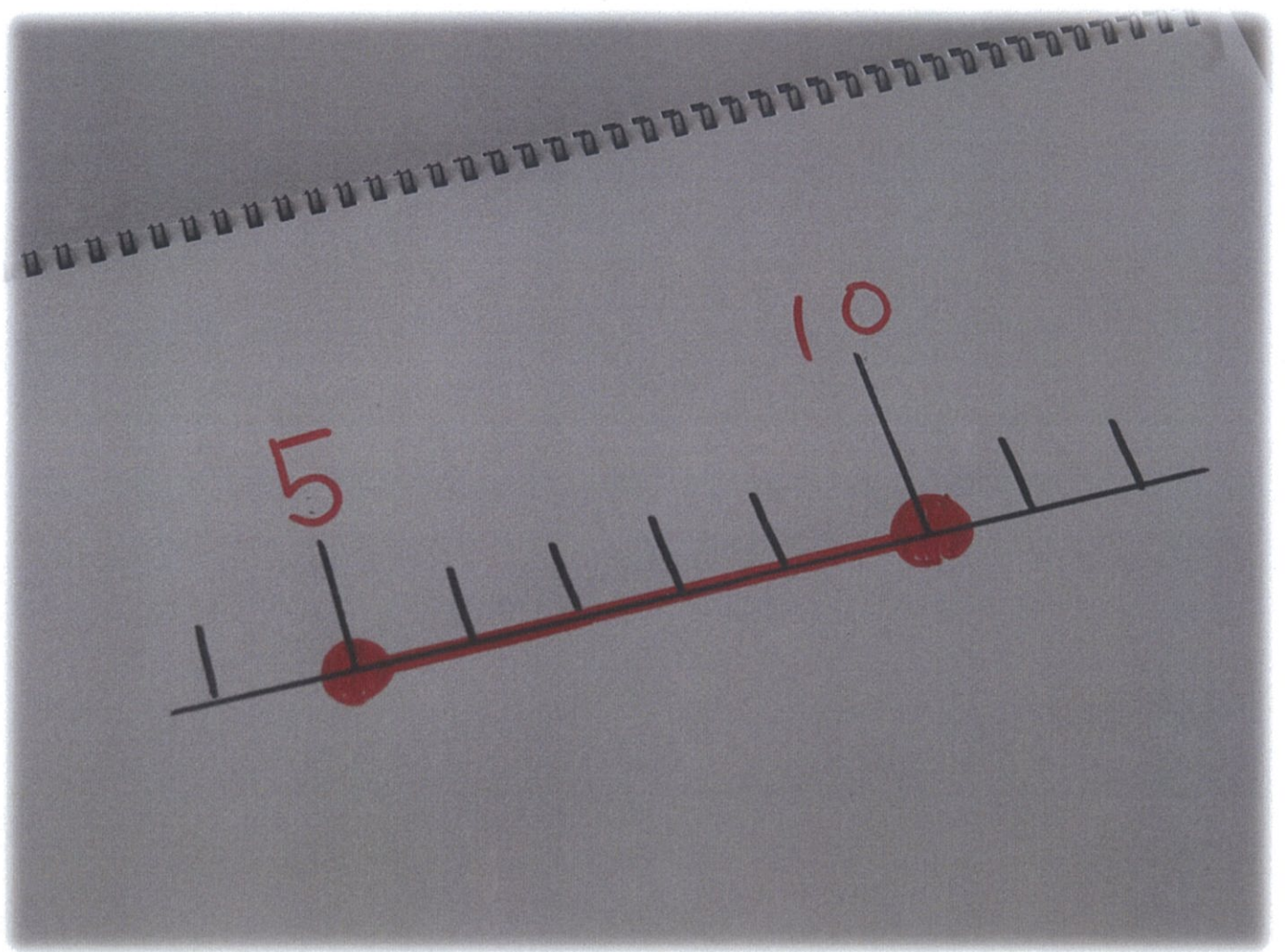


R6. 7. 3 | 1年部授業の様子

# 生かせ Strong point

絵を描くことが好きだから、授業に自分で描いた絵を活用してみる。授業の中で自分の得意を生かす。自分にもある Strong Point を発見しよう。



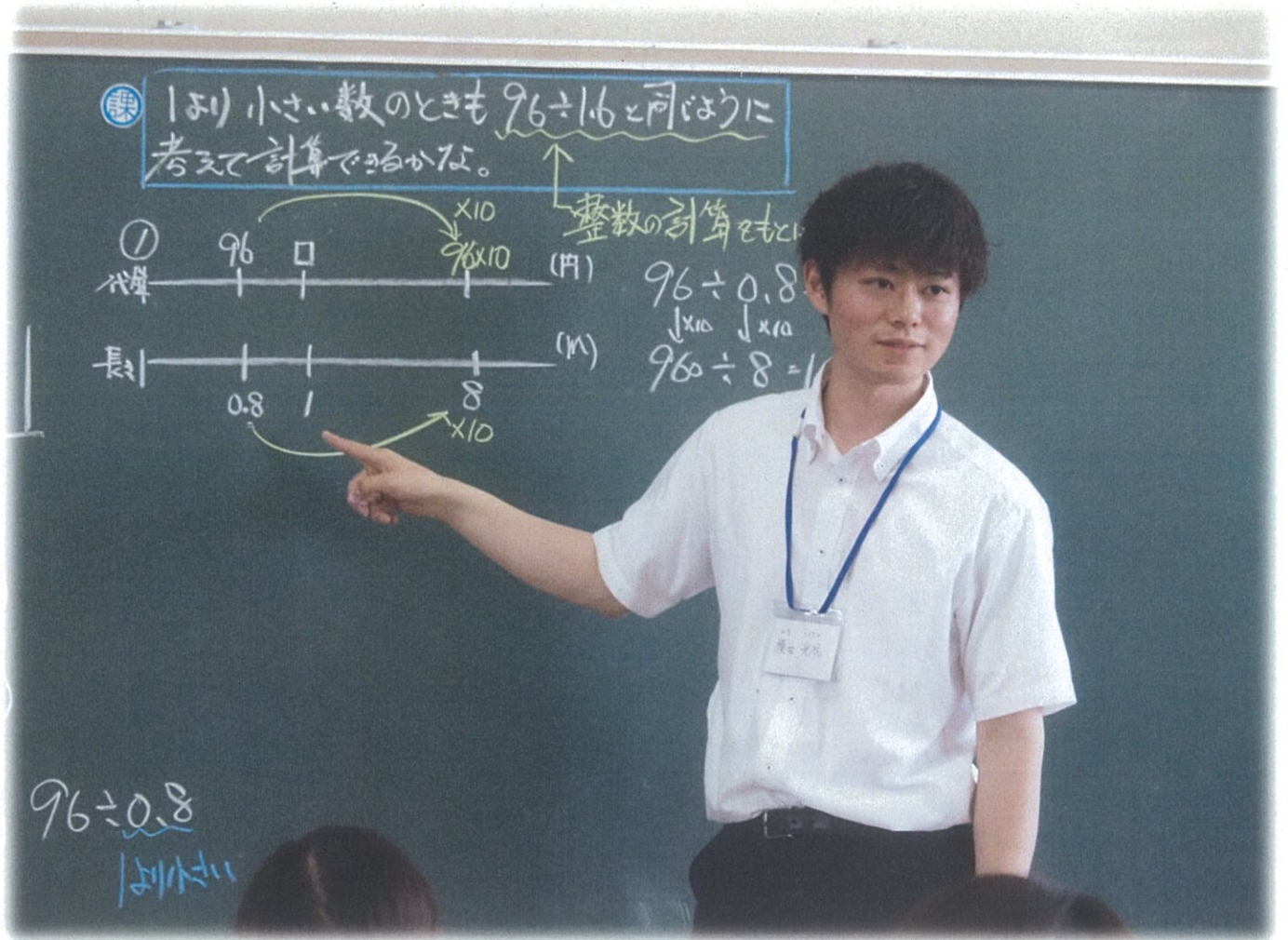


R6. 7. 3 4 年部授業準備

# 教具の工夫

授業の最後に理解ができているかをフラッシュカードで確かめをする。子供の興味や意欲を引き出し、理解を測るために教具の工夫をする姿勢が見事です。





R6. 7. 3 5年部授業の様子

# 挑戦者

授業チャレンジ。はじめて子供の前で授業をする。上手くいったこともいかなかったことも、チャレンジしたことは、次につながる全てが学びです。





R6. 7. 3 6年部授業の様子

# フロアを見取る

教室の前から授業観察をする。先生や発表者だけでなく、話を聴いたり考えたりするフロアの子供の表情や学びの姿を見取ることができる。





R6. 7. 4 キラキラ掃除の様子

# 一人一人

キラキラ掃除で見取った子供のがんばっているすてきな姿を価値づける。一人一人の名前をあげて話すことで、具体的になり、子供たちのやる気もアップします。





R6. 7. 4 算数の授業の様子

# 色・枠・線・矢印

「児童にとって見やすいかどうか・・・」  
 効果的に色を変えたり、枠で囲んだり、小児童のための丁寧な計画・工夫、素晴らしいです。





R6. 7. 5 掃除の振り返りの様子

# 名前つけ価値づけ

名前を呼ぶことで、紹介された本人にとっては励みになり、周りの児童にとってはお手本を見て真似することに繋がりやすいです。しっかり見取らないと言えません。





R6. 7. 4 4年部授業の様子

# 仲間から吸収

仲間が授業にチャレンジする姿から、多くのことを吸収して、自分の授業に生かす。仲間の授業は、自分が成長をするチャンスです。自分事として観察しましょう。